

平成22年国勢調査第2次試験調査の調査票提出の周知方法（案）

【新たな提出方法の強調周知型】

郵送による提出を基本とし、世帯の希望により調査員への提出、市区町への持参やインターネットによる回答も可能とする旨を周知
第1次試験調査の周知方法とほぼ同様

【多様な提出方法の並列周知型】

区 分	メリット	デメリット
<p>案1 多様な提出方法を配布書類で世帯に周知する方法</p> <p>《世帯配布用書類の記述内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査票配布前の事前配布書類に、調査票の多様な提出方法があること、希望する提出方法で提出するよう依頼する旨を記述。また、調査票配布時に世帯に配布する書類にも同様に記述 <p>《調査票配布時の調査員事務》</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査員は世帯に対し、調査票の多様な提出方法があることを説明 郵送提出用封筒はすべての世帯に配布 すべての世帯に対し、調査票回収期間に再訪問する日時を伝える <p>《調査票回収時の調査員事務》</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査員は調査区内のすべての世帯を訪問し、調査票を回収。なお、調査票を未提出で、郵送提出、市区町への持参やインターネットによる回答の方法を希望する世帯には、速やかに調査票を提出するよう依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 調査票配布時の調査票の提出方法の確認は行わないことから、不在世帯への対応が可。また、世帯が希望する調査票の提出方法を自由に選択することが可 調査員指導が容易 	<ul style="list-style-type: none"> 調査票回収時の調査員事務の縮減は不可
<p>案2 希望する提出方法を調査員が世帯に確認する方法</p> <p>《世帯配布用書類の記述内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査票配布前の事前配布書類に、調査票の多様な提出方法があること、希望する提出方法を調査票配布時に調査員が確認する旨を記述 <p>《調査票配布時の調査員事務》</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査員は世帯に対し、調査票の多様な提出方法があることを説明し、世帯の希望する提出方法を確認 調査員は世帯の希望する調査票の提出方法を世帯名簿に記載 郵送提出用封筒は郵送提出を希望する世帯と、不在世帯のみ配布 調査員への提出を希望する世帯についてのみ、調査票回収のために訪問する日時を世帯に確認 <p>《調査票回収時の調査員事務》</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査員への提出を希望する世帯を訪問し、調査票を回収 調査票配布時に不在だった世帯を訪問し、世帯が調査員への提出を希望する場合には調査票を回収 	<ul style="list-style-type: none"> 調査票回収時の世帯訪問は、調査員への提出を希望する世帯（調査票配布時に不在だった世帯を含む）に限定されることから、調査票回収時の調査員事務の縮減が可 	<ul style="list-style-type: none"> 世帯が調査員との関係から、調査票の提出方法を自由に選択することが困難な事例が生じる可能性 調査票配布時に希望した調査票提出方法が変更される事例が生じる可能性（インターネットによる回答を希望したが、動作環境が合わず、他の提出方法を選択せざるを得ない状況など） 調査票配布時における世帯への調査票の提出方法の確認、世帯名簿へのその旨の記述の追加に伴う調査員事務が増加